

会社概要

商号 林兼産業株式会社
 本店所在地 〒750-8608
 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266

主要製品 食肉加工品(キリンハム)・肉類(霧島黒豚)
 魚肉ハム・ソーセージ
 機能性食品(エラスチン・ソフミート)
 養魚用飼料

役員一覧

2019年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)		熊山 忠和
取締役副社長 (代表取締役)	経営企画室担当	中部 哲二
常務取締役	水産食品事業部長 兼開発部担当	岡本 伸孝
取締役	(社外・非常勤)	岩村 修二
取締役	(社外・非常勤)	牟田 実
取締役	畜産食品事業部長 兼東京支社担当 兼大阪支社担当	三井 宏
取締役	管理本部長 兼品質保証部担当	高田 啓吾
取締役	飼料事業部長	三代 健造
常任監査役	(社外・常勤)	山本 昌信
監査役	(社外・非常勤)	大深 邦宏
監査役	(非常勤)	川崎 哲彦
監査役	(社外・非常勤)	桑原 望

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 特別口座の口座管理機関 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 連絡先 電話 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

公告の方法 電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。

Today's Special

この冬イチオシ!

逸品ギフト

霧島黒豚・赤鶏さつまみぞれ鍋セット



霧島黒豚と赤鶏さつまみのお肉のコクと旨味を、みぞれに見立てた大根おろしでさっぱりとヘルシーにお召し上がりいただける鍋セットです。素材の美味しさを十分味わえるように、塩ダレベースで仕上げました。



当社ホームページでIR情報等がご覧いただけます。

<http://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第81期 中間期

株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第81期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、養魚用飼料の販売数量が増加したことなどにより223億93百万円(前年同期比2.8%増加)となりました。損益面におきましては、売上増加により営業利益は5億76百万円(前年同期比19.6%増加)、経常利益は6億37百万円(前年同期比16.9%増加)となりましたが、税金費用の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は3億49百万円(前年同期比13.2%減少)となりました。

当社グループは「第四次中期経営計画」(2019年3月期～2020年3月期)のもと、「前進～次のステージへ」をテーマに「収益基盤」「財務基盤」「経営基盤」の安定化を図り、持続的な成長を可能とする事業基盤の確立に取り組んでまいりました。

「収益基盤」については、機能性食品の増産対応や加工食品工場の最適生産体制を構築するとともに、投資効果の検証などを通じて収益体制の確立に取り組んでおります。

「財務基盤」については、有利子負債や在庫の圧縮による財務改善を図っております。

「経営基盤」については、コーポレートガバナンスを更に強化し継続的な企業価値向上を図っております。

今後も持続的な成長を可能とする事業基盤の確立を目指してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

取締役社長

熊山 忠和



林兼産業株式会社

※「第四次中期経営計画(2か年経営計画)」の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。
[\[http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html\]](http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html)

セグメント概況

[水産食品事業]



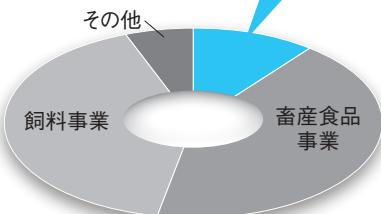
魚肉ねり製品は、中国向けの輸出が増加したものの、国内の売上が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品は、機能性食品素材「カツオエラスチン」や和菓子、高齢者向けソフト食「ソフミート」の売上が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は24億1百万円(前年同期比1.8%増加)となりました。

セグメント別売上高

24億1百万円
(前年同期比1.8%増)



[畜産食品事業]



ハム・ソーセージ等食肉加工品は、業務用商材の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

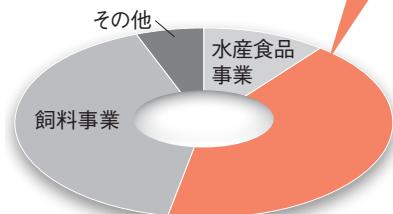
肉類は、猛暑の影響などにより豚肉の国内生産量が減少するなか、既存量販店への豚肉の売上が減少したことにより、減収となりました。

調理食品は、販売単価が下落したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は94億96百万円(前年同期比2.8%減少)となりました。

セグメント別売上高

94億96百万円
(前年同期比2.8%減)



[飼料事業]



養魚用飼料は、プリ・マダイの在池量増加を背景に販売数量が増加したことにより、増収となりました。

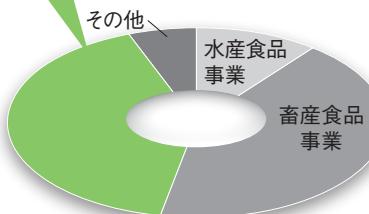
水産物は、プリの取り扱い量が増加したことにより、増収となりました。

畜産用飼料は、養豚用飼料の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は92億16百万円(前年同期比7.9%増加)となりました。

セグメント別売上高

92億16百万円
(前年同期比7.9%増)



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2019年9月30日)
資産の部	
流動資産	14,746
固定資産	16,468
有形固定資産	10,694
無形固定資産	19
投資その他の資産	5,754
資産合計	31,214
負債の部	
流動負債	15,611
固定負債	7,332
負債合計	22,943
純資産の部	
株主資本	6,699
資本金	3,415
資本剰余金	8
利益剰余金	3,283
自己株式	△7
その他の包括利益累計額	758
その他有価証券評価差額金	781
繰延ヘッジ損益	0
為替換算調整勘定	11
退職給付に係る調整累計額	△34
非支配株主持分	812
純資産合計	8,271
負債純資産合計	31,214

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	22,393
売上原価	18,734
売上総利益	3,659
販売費及び一般管理費	3,083
営業利益	576
営業外収益	142
営業外費用	81
経常利益	637
特別利益	14
特別損失	61
税金等調整前四半期純利益	590
法人税、住民税及び事業税	241
法人税等調整額	△36
四半期純利益	385
非支配株主に帰属する四半期純利益	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	349

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,097
現金及び現金同等物の期首残高	2,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,131

○連結売上高



○連結経常利益



○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

